

学習センター

利用の手引



2025年度



放送大学

佐賀学習センター



放送大学学歌

那珂太郎作詞

(一)
あまたの星々のなかの この地球にあつて
われらはまなぶ 世界を 自分を
われら どこから来て どこにゐるのか
生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ
知は光 みどりの未来を展^{ひら}くため
いつでも どこでも
見えない友と 共に生き 共にまなぶ
開かれた大学 放送大学

(二)
はるかな永劫^{えいこく}のなかの この時代にあつて
われらは知らう 社会を 自然を
われら どこから来て どこへ行くのか
生きるとは知ること 知ることとはよろこび
知は力^{ちから} よりよい生^{いのち}を拓^{ひら}くため
朝^{あさ}に 夕^{ゆふ}に
親しい友と 語り合ひ 友にまなぶ
開かれた大学 放送大学

表紙：写真提供 佐賀市経済部観光振興課

【柳町の通り：佐賀市歴史民俗館】

概 要 佐賀市歴史民俗館は、現代に残る歴史的建造物を後世に伝えるとともに、市の財産として役立てようと整備・保存されているものです。

1997（平成9）年に旧古賀銀行、旧古賀家、旧牛島家の3館が開館、その後2000（平成12）年に旧三省銀行、旧福田家が開館しました。この5館は佐賀市の重要文化財に指定されており、観光・見学施設として無料公開されている他、コンサートや展示といったイベント会場としても、広く皆さまにご利用いただいています。

2016（平成28）年4月より、旧森永家、旧久富家が追加され、佐賀市歴史民俗館は7館となりました。尚、旧森永家、旧久富家は、佐賀県遺産に登録されています。

旧古賀家は、古賀銀行を創設し頭取を務めた古賀善平の住宅として1884（明治17）年に建てられました。街道沿いの町屋に多い切妻造ではなく、入母屋造の屋根を備えた旧古賀家は武家屋敷の様式を踏襲しています。とりわけ約50畳の大広間は圧巻です。欄間や襖、板戸といった内装にもぜひご注目ください。

現存する建物は、座敷をはじめ住宅の主要部分は良く残り、本格的な屋敷構えで格式に優れた明治期の実業家の住居遺構として貴重な存在です。



旧古賀家内部

※2025年度第1学期面接授業「佐賀の歴史と文化1」が4月26日（土）～27日（日）の2日間、佐賀大学全学教育機構中尾友香梨教授を講師に迎え開催されます。佐賀藩の成立と発展の歴史について城下町の整備と長崎街道沿いの産業・商業の発展の歴史を中心に佐賀市歴史民俗館（旧古賀家）での座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークを組み合わせた授業です。

目 次

はじめに	2
放送大学及び佐賀学習センターの沿革	3
開所日及び利用時間	4
施設の案内	5
視聴学習室の利用	6
放送大学附属図書館等の利用	8
放送教材（DVD・CD）の郵送貸出	9
インターネットを活用した在学生向けシステム	11
各種届出等	14
諸証明書等	15
学習の基本的事項	16
単位修得までの流れ（学部）	17
単位修得までの流れ（大学院）	18
2025年度 学習センター受験者用の単位認定試験時間割（大学院）	19
2025年度第1学期 学習センター受験者用の単位認定試験時間割（学部）	20
2025年度第2学期 学習センター受験者用の単位認定試験時間割（学部・予定）	22
2025年度学年暦	24
登録科目名等のメモ	28
学習進度チェック表	30
課外活動等紹介	31
2025年度佐賀学習センター閉所日カレンダー	32
佐賀学習センター案内図	33

❖ 佐賀学習センターのスタッフ ❖

センター所長	山下 宗利（地 理 学）	事 務 長	高祖 和久
客 員 教 授	船久保公一（物 理 学）	事 務 職 員	寺町 孝章
客 員 教 授	吉住 磨子（美 術 史）	〃	有森 高夫
客 員 教 授	安田 伸一（経 済）	〃	堤 陽子
客 員 教 授	伊藤 昭弘（歴 史）	〃	野副 朋子
客員准教授	山崎美穂子（英 文 学）	〃	高岸まひる
客員准教授	孫 友容（法 学）		

はじめに

生涯教育の実現

この度、放送大学佐賀学習センター所長に就任いたしました山下宗利です。

人生のどの段階にいても、またすでにどれほどの知識の蓄積があろうとも、私たちの前には常に未知の世界が広がっています。AIやICTの進化、グローバル化の進展、気候変動など、社会はかつてないスピードで変化しています。特に、少子高齢化は、私たちの生活様式や社会構造に大きな影響を与えています。

学ぶことは、私たち人間が持つ根源的な欲求の一つであり、自己成長の原動力となります。個人の充足のためであれ、急速に変化する世界に対応するための専門技術・能力の開発やキャリアアップのためであれ、現状に満足せず常に新しい概念を探索し、新しい趣味を追求し、自分自身を向上させるための新しい方法を模索していく行為は極めて本質的であり、重要です。この常に何か新しいことを学ぶ行為は、自分自身についての隠された洞察を探索し発見する力を与えてくれます。そして特定の分野について知識が深まったり、新しいスキルを習得したりすると、わたしたちは私生活や仕事で自分の能力に自信が持てるようになるでしょう。

放送大学は、『学びたい人が、いつでも、だれでも、どこでも学べる開かれた大学』という理念のもと、多様な人々の学習を支援しています。加えて『最先端の知の追求』『資格取得とキャリアアップ』『多様性とアクセシビリティへの配慮』という基本コンセプトで運営されています。さまざまな人たちがそれぞれの目標に向かって放送大学で学んでいます。大学卒業を目指す人、新しい趣味を身につけたいシニア世代の人、AI等のプログラミング能力や英会話、簿記等の実用的なスキルを獲得しキャリアアップを目標とする人など、あらゆる人たちの学びの場です。放送大学にはさまざまな年代、職業の人たちが自由に学べる環境が整っており、学ぶ意欲があれば、何歳からでも何度でも入学して学び続けることができます。また佐賀学習センターではインターネットを用いた授業のみならず面接による授業も数多く開設し、学習環境の向上を図っています。

大学での学びは、目標が明確であればあるほど効果が大きくなります。一方で目標が不明瞭では学びの効果は当然ながら薄れてきます。データサイエンティストを目指したい、地域の歴史・文化を深く追求したい、わたしたちの生活に関わるさまざまな領域を総合的に学びたい、ビジネスに活かせる経営を知りたい等、人によって学びの目標は異なっています。皆さんには、それぞれの目標に向かって邁進されることを心から期待しています。わたしたち佐賀学習センター関係者一同は、皆さんの目標達成に向かって全力で支援していきます。学生目線での柔軟かつ適切な学習環境を提供し、仕事・家事・育児などとの調和を実現できるようサポート体制を充実しておりますので、明るく楽しいキャンパスライフをお過ごしください。

放送大学佐賀学習センター所長

山下宗利

放送大学及び佐賀学習センターの沿革

昭和56年 6 月	放送大学学園法（昭和56年法律第80号）公布・施行
7 月	放送大学学園設立
58年 1 月	放送大学設置認可
4 月	放送大学設置
60年 4 月	学習センター学生受入れ開始、放送授業開始
平成10年 1 月	C S デジタル放送による全国放送開始
4 月 1 日	放送大学佐賀学習センター仮事務所設置（佐賀市城内、旧佐賀県視聴覚ライブラリー跡）
6 月12日	放送大学佐賀学習センター事務所開き（佐賀市天神、アバンセ 4 F）
7 月 5 日	放送大学第105回公開講演会開催（アバンセ第 1 研修室）
9 月18日	放送大学佐賀学習センター開所式
10月 1 日	全国の学習センターで全科履修生受入れ開始 放送大学佐賀学習センター学生受入れ開始
11年12月 3 日	佐賀短期大学との単位互換協定調印
12年 5 月12日	佐賀女子短期大学との単位互換協定調印
10月20日	佐賀大学との単位互換協定調印
11月16日	九州龍谷短期大学との単位互換協定調印
13年 4 月	放送大学大学院修士課程設置
6 月19日	西九州大学との単位互換協定調印
14年 4 月	放送大学大学院生受入れ開始、放送授業開始
15年10月	放送大学学園法（平成14年法律第156号）の施行に伴い、特殊法人から特別な学校法人に移行
19年12月18日	「大学コンソーシアム佐賀」設置（県内 5 大学及び放送大学佐賀学習センター）
20年 5 月31日	放送大学佐賀学習センター開設10周年記念講演会開催 県内 5 大学及び放送大学において単位互換協定締結
23年10月	B S デジタル放送開始
26年 4 月	放送大学大学院博士後期課程設置
27年 4 月	オンライン授業配信開始
30年 3 月	放送大学佐賀学習センター学生等交流室の増床及び個室化
6 月 2 日	放送大学佐賀学習センター開設20周年記念式典・記念講演会開催
令和 3 年 1 月15日	唐津ビジネスカレッジとの連携協定の覚書を締結

開所日及び利用時間

期 間		曜 日	事務室の利用時間	視聴学習室の利用時間
通常期間 〔 4月1日～7月15日 〕 〔 7月25日～1月17日 〕 〔 1月27日～3月31日 〕		火～土	9：30～17：45	
		日	8：30～16：45	
単位認定試験実施期間 〔 7月16日～7月24日 〕 〔 1月18日～1月26日 〕		火～土	9：30～17：45	
		日	8：30～16：45	
閉 所 日	* 月曜日 * 国民の祝日 * 年末年始（12月29日～1月3日） * 所長が特に必要と認めた日（8月13～15日）			

☆ 学習センターの開所日及び利用時間は、学習センター毎に地域の実情に応じて異なりますので、所属以外の学習センターを利用の際はご注意ください。

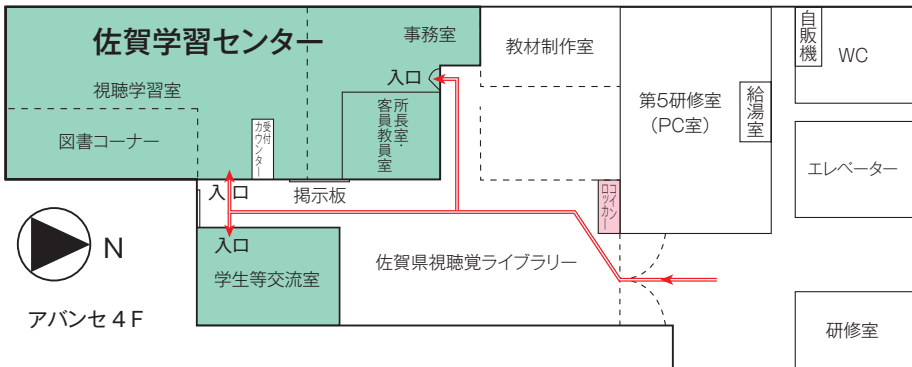


視聴学習室



Webブース、視聴学習室受付、バリアフリースペース

施設の案内



○事務室

履修に関すること、各種手続き、諸証明書の発行等を行っています。必要のつど申し込んでください。

その他、分からないことは気軽にご相談ください。

○視聴学習室

すべての印刷教材が備えられており、個別の視聴席で、都合の良い時間に学習できます。図書資料として、事典・辞書類を中心に学習の参考図書を配架しています。

○受付カウンター

放送教材の視聴、図書資料の閲覧など視聴学習室の利用に関する手続きは、すべて受付カウンターで行います。

○掲示板

センターの閉所日、利用時間の変更、その他学生へのお知らせは掲示板に掲示します。センターに来られたら、必ず掲示板を見るようにしてください。

* 視聴学習室利用の場合は、学習上必要なもの以外の持ち込みはできません。不要なものはアバンセの1階と4階の県視聴覚ライブラリーの入口に設置されている **コインロッカー** を利用してください（使用時には100円硬貨が必要ですが、後で返却されます）。

* 駐車場については、アバンセ北側の駐車場を利用してください。

視聴学習室の利用

視聴学習室（図書コーナー含む）は、放送大学の授業や講座の視聴など、学生の皆さんが、放送大学で学ぶために必要な自己学習支援のため、センター内に設置しています。

授業等に必要な放送教材や配架している参考図書の閲覧、室内にある個別ブース（OAデスク）での放送授業の視聴などの学習にご利用ください。（それ以外の目的での利用については、アバンセ1～3階に数カ所設けられているスペースをご利用ください。）

※ 利用時間については4ページをご参照ください。

利用申込み

入口にある受付カウンターで学生証を提出し入室、図書閲覧、視聴等を始めてください。職員不在の場合は、受付カウンターにあるチャイムを押してください。

* 「バリアフリースペース」（視聴学習室の入口横に設置）の利用について

車椅子等を利用されている方や介助者が同行される方など、学習や行動に支援を要する方を対象としたスペースとして「バリアフリースペース」を設置しています。

①利用希望される際は、事前（利用日の前日まで）に、佐賀学習センターあてメールまたは電話で学籍番号、氏名、連絡先、支援が必要な状況（車椅子等を利用、介助者同行等）をご連絡ください。

②利用日当日に、「バリアフリースペース」が空いている場合は、学生の皆さんであればなたでも利用いただけます。受付カウンターで利用の申込みをしてください。

なお、利用中に、車椅子等を利用される方や介助者が同行される方など、学習や行動に支援を必要とされる方が、来所・利用希望された場合は、利用を中断し「バリアフリースペース」を譲って頂きますのであらかじめ、御了解ください。

* 「Webブース」（視聴学習室の受付カウンター横に設置）の利用について

PC利用のスペースで放送大学関係の講演会やゼミにZoom等で参加するときに使用できます。ただし学習センター業務が優先となります。

放送授業の視聴方法

視聴機器の操作は丁寧に行ってください。誤った操作を行うと機器が損傷、故障するおそれがありますので、不明な点があれば職員におたずねください。

（１）放送教材（DVD・CD）を再生しての視聴

- ・DVD、CDプレーヤーを設置した個別ブース（OAデスク）でご利用ください。
- ・2017年度までに開設された科目、2018年度の開設科目（大学院科目を除く）のDVD・CDを1セット配架しています。これらの科目については、閉講するまでの間、配架を行います。
- ・2019年度以降の新規開設科目のDVD・CDについては、配架を行いません。

（２）パソコンでの視聴

- ・個別ブース（OAデスク）に設置しているパソコンで放送授業のインターネット視聴ができます。
- ・設置のパソコンでシステムWAKABAにアクセスすることができます。

(3) 個人のパソコン等の持込による視聴（学習用無線LAN（Wi-Fi houdai）の接続）

放送授業の視聴等のため、視聴学習室へ個人のパソコン等（スマートフォン、タブレットを含む）の持込使用が可能です。視聴には学習センターが付与する認証用IDとパスワードが必要です。利用の際は、下記研修を受講のうえ手続きをお願いします。

- ①放送大学が指定するeラーニングのサイバーセキュリティ研修（システムWAKABAの放送大学の自己学習サイト「情報セキュリティ研修（学生用）」）を受講し確認テストに合格してください。
- ②研修を修了した情報を元に、「システムWAKABA⇒キャンパスライフ⇒無線LAN利用申請（オンライン）」について⇒申請フォーム」を開き、キャンパスメール（アカウント）でログインし、「無線LAN利用申請書」に必要事項を記入して提出してください。
- ③「無線LAN利用許可書」に記載されている認証用IDとパスワードを入力して、ネットに接続してください。（詳細は佐賀学習センターホームページ各種お手続き「オンライン申請方法」に記載）

(4) 自分用パソコン持込み方式（BYOD）のご案内

パソコンを使用して実施する面接授業は、これまで学習センターのパソコンを使って実施してきましたが2024年度第1学期以降、学習センターのパソコンとプリンターが廃止されました。

- ①学習センターの無線LAN（Wi-Fi）に接続する場合、所定の手続きを面接授業の受講前日までにやる必要があります。手続きの詳細は上記（3）「個人のパソコン等の持込による視聴」をご参照ください。
- ②学習センターにプリンターはありませんので、紙媒体でレポート提出が必要な場合、自宅やコンビニ等で印刷いただく必要があります。

図書資料の室外貸出

2019年4月から学習センター所属図書資料の室外貸出がなくなり、放送大学本部にある附属図書館で一括して行っています。

放送大学所蔵の図書資料は、放送大学OPAC（図書館蔵書検索システム）で検索できますので、視聴学習室の学生パソコンをご利用ください。

佐賀学習センターへご希望の図書の配送を希望される方は、放送大学OPACでの申込み、あるいは視聴学習室備え付けの申込書で手続きを行ってください。（ご自宅へ配送される場合の送料は個人負担となります。）

- ①教養学部学生は、貸出期間は1ヶ月以内、冊数は1回10冊まで
- ②大学院学生は、貸出期間は1ヶ月以内、冊数は1回修士20冊、博士30冊まで

詳しくは放送大学附属図書館のホームページ（<https://lib.ouj.ac.jp/>）、「学生生活の葉」の附属図書館の利用方法をご覧ください。

文献複写

図書資料の複写を希望する方は「文献複写申込書」に記入し、複写する図書資料とともに受付カウンターに申し込んでください。

- ①文献複写の申し込みは、視聴学習室利用時間終了30分前までです。
- ②文献複写料金は、コピー1枚につきモノクロ10円、カラー50円です。
- ③文献複写については、著作権法により制限がありますのでお尋ねください。

放送大学附属図書館等の利用

放送大学附属図書館の利用（千葉市美浜区若葉2-11）

学習センターを通して図書の貸出し、文献複写、他大学図書館の利用申し込みなどができます（文献複写料金、郵送料等は申込者負担）。なお、利用の際は学生証が必要です。

また、本部図書館資料の貸出状況は、学習センター図書端末及びOPAC（蔵書検索システムの詳細については「学生生活の葉」をご覧ください）で検索できます。

開館日や開館時間が変更になる場合がありますので、皆様におかれましてはWebページ等で随時確認のうえ、ご利用ください。

佐賀大学附属図書館の利用

佐賀大学附属図書館を利用する場合は、図書館カウンターで学生証を提示し、所定の手続きを行い、「図書館利用証」の交付を受けてください。なお、利用に際しては佐賀大学附属図書館利用規程などに従ってください。

放送大学セミナーハウスの利用

放送大学学園本部（千葉市）にあるセミナーハウスは、研修、演習、実習、放送大学公認の学生団体が行う課外活動、あるいは学生の個人学習のための利用が可能で、宿泊もできます。

詳しくは「学生生活の葉」120～124ページをご覧ください。

Webページ等で随時確認のうえ、ご利用ください。

放送教材（DVD・CD）の郵送貸出

BS放送が受信できない又はインターネット環境がない等、ご家庭等に放送授業を視聴する環境がない場合でも、放送教材（DVD・CD）を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。（2026年3月19日～2026年3月31日は特別整理期間のため、郵送貸出しは行いません。）

※学習センターでは室外・郵送貸出を行いません。

1 貸出できる放送教材

- （1）学期の初めから単位認定試験期間終了まで
 - ・履修している科目
 - ・再試験を受験する科目
 - ・特別講義
- （2）単位認定試験期間の翌日からその学期終了まで
 - ・開講中（1学期は閉講後再試験科目を含む）の全ての科目
 - ・特別講義

2 貸出期間・貸出数

- （1）貸出し期間
20日間以内
- （2）貸出し枚数
DVD・CD合わせて5枚以内

※上記の日数には、放送大学本部からの発送日及び返却到着日を含みます。

3 貸出方法

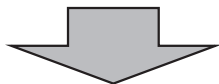
放送教材貸出申込書を「郵送」又は「FAX」してください。「インターネット」による申込みもできます。なお、お電話での申込みは一切受け付けません。放送大学本部からの郵送方法は第四種郵便のみとし、送料は往復分とも申込者（学生）負担となります。

4 放送教材の郵送貸出し申込みから返却までのながれ

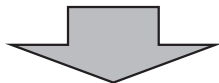
- a 申込みに必要なもの
 - i 放送教材郵送貸出申込書（※申込書は、「学生生活の葉」の巻末の様式19をA4に拡大コピー又はシステムWAKABA「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードしてください。）

ii) 送料分の切手（※郵便料金は料金表を参照してください。）

- ・ 郵送申込みの場合：申込用紙に切手を貼付してください。
- ・ FAX申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。
- ・ インターネット申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。



- b 放送大学本部：学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当 から申込受付順に放送教材を確認して発送（発送作業は平日（土・日・祝休日・年末年始・特別整理期間のぞく））
※正午以降に受付けた場合は、翌発送日の取扱いとなります。



- c 視聴後、放送大学本部：学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当 へ返送
・ 郵送された際に同封されていた申込書のコピーも放送教材と一緒に返送してください。
・ 新たに放送教材貸出の申込みを行う場合は、新規に貸出申込書を作成し、送料分の切手を貼付してください。

【第四種郵便（通信教育用）料金表】

～100 g	101～200 g	201～300 g	301～400 g
15円	25円	35円	45円

◎料金の目安

DVD・CD 共通 1 枚：15円、2 枚：25円、3～4 枚：35円、5 枚：45円

※郵送申込みを第四種郵便で行う場合は、封筒のサイズを最小縦14cm・横9cm、最大縦60cm・縦と横と厚さの合計90cmに収め、封筒ののりしろ部分を3分の1程度切り取り、「文部科学省認可通信教育」と表示してください。

※速達による郵送を希望する場合には、料金分の切手を追加し、郵送又はFAXによる申込の場合には申込書の「速達希望」の「する」にマルを付けてください。インターネットによる申込みの場合には、第1希望の科目名の後に「速達希望」と入力してください。

5 申込み先

(1) 郵送による申込み

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11

放送大学 学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当

電話番号 043-276-5111（総合受付）

(2) FAXによる申込み

FAX番号 043-298-4510

(3) インターネットによる申込み

https://www.ouj.ac.jp/hp/BorrowDVD_v01/borrow_dvd/borrow

インターネットを活用した在学生向けシステム

放送大学ホームページ URL <https://www.ouj.ac.jp/> ※1

放送大学ホームページには、在学生への各種情報やお知らせが多く掲載されています。各種パンフレット、放送大学で目指せる資格、公開講演会等の案内、授業科目（シラバス）、動画チャンネル、学生の声等多くの役立つ情報がありますので、是非、ご利用ください。

教務情報システム（システムWAKABA） ※2

学籍情報や単位の修得状況などを閲覧するための「教務情報機能」に加え、学生生活における各種お知らせや手続き情報を取得するための「キャンパスライフ機能」、放送授業等の履修科目の学修を支援するための「授業サポート機能」があり、本学学生のためのポータル（入口）サイトとしても機能します。

1. 放送大学HPにアクセスし、トップページ上部中央「在学生（WAKABA）」をクリックし、「在学生の方へ」の「システムWAKABA（教務情報システム）」をクリックするとログイン画面が出ますので、ログインボタンをクリックしてください。

本学ウェブサイト ※1

在学生の方

在学生（WAKABA）

システムWAKABA（教務情報システム）

キャンパスメール

①資料請求
②パンフレット
③インターネット出願
入学案内 etc

放送大学認証システム

ログイン

ログイン

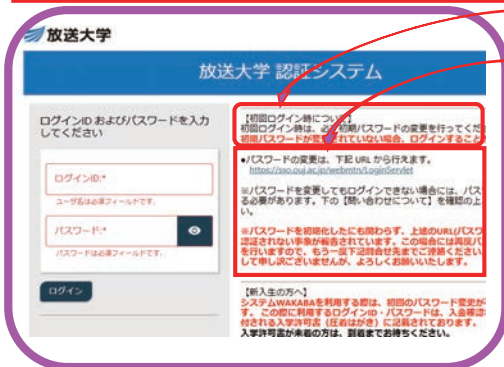
次ページにつづく

2. 次に放送大学認証システムの画面が出たら、初回はパスワード変更です。

放送大学認証システム

【重要な注意事項】

初回ログインの前に、必ず ① 初期パスワード（生年月日）を
変更ください。変更されない場合は ② ログイン できません。



【初回ログイン時について】

パスワード変更について

【ログイン方法】

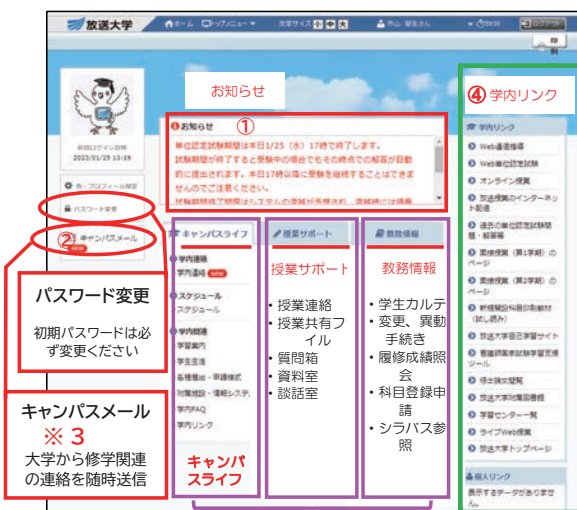
- ①まず、画面左側にある「ログイン ID」の入力欄をクリックし、学生番号を半角数字10桁で入力してください。
- ②「パスワード」の入力欄をクリックし、ご自身が【初回ログイン時について】で変更したパスワードを入力してください。
- ③ログイン ID とパスワードの両方を入力したら、最後に「ログイン」をクリックしてください。

【パスワードロック】

- ①システム WAKABA へのログイン、ID/パスワードに関する問合せ先は、各学習センター、学生サポートセンター、教務課教務係 (kyomuka@ouj.ac.jp)へ
- ②パスワードの初期化後、上記【重要な注意事項】に沿って、翌朝6:00までにパスワード変更を行わないと、再びアカウントがロックされます。

3. システムWAKABAへログイン後、①お知らせ（本部からのメッセージが表示されます。）、②キャンパスメール（大学からの連絡事項が届きます）、③メインメニュー（キャンパスライフ、授業サポート、教務情報の各機能が利用できます。）④学内リンク（Web通信指導、Web単位認定試験、放送授業のインターネット視聴、試験の過去問題・解答の閲覧等ができます。

システム WAKABA ※ 2



【学内リンク】 各システムへのリンク

- ・放送授業
放送授業のインターネット配信
- ・Web 通信指導
- ・Web 単位認定試験
- ・過去の試験問題公表
2 学期間分を公表
- ・オンライン授業・面接授業
- ・オンライン授業
- ・ライブ Web 授業
- ・面接授業（第 1 学期）
- ・面接授業（第 2 学期）

その他リンク

- ・自己学習サイト
- ・看護師国家試験支援
- ・修士論文閲覧
- ・放大附属図書館関連
- ・学習センター一覧
- ・放太トップページ

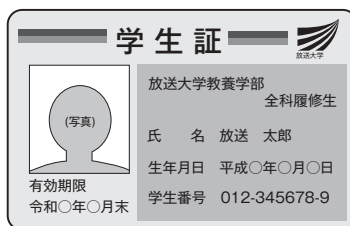
③

各種届出等

学生証の発行

学生証の発行は、佐賀学習センターで行います。
単位認定試験や視聴学習室利用の際に必要なのです
で、事務室で手続きを受けてください。

また、紛失、汚損等による使用不能、氏名の変更
等の場合は、再発行の手続きを行ってください。
(詳細及び再発行については、「学生生活の葉」を参
照してください。)



各種届出

下記の書類は、提出期限内に到着するよう指定の提出先へ提出してください。
各種様式は、「学生生活の葉」巻末に添付されています。詳細については、「学生生活の
葉」を確認してから提出してください。
なお、教務情報システム（システムWAKABA）からも利用できます。

提出書類	提出先	提出期限	
		第1学期	第2学期
所属学習センター 変更願 次学期に学籍がない方は 変更できません。	学部 本部学生課 大学院 全科生…本部教務課 選科生・科目生…本部学生課	☆第2学期からの変更 4月20日から8月10日まで	☆翌年度第1学期からの変更 10月20日から翌年の2月8日まで
所属コース・専攻変更願兼 カリキュラム移行届（学部のみ）	学部 本部学生課	☆第2学期からの変更 4月20日から6月7日まで	☆翌年度第1学期からの変更 10月20日から12月7日まで
住所等変更届	学部 所属学習センター 大学院 全科生…本部教務課 選科生・科目生…本部学生課	変更後すみやかに提出してください。 ※ 住所変更の際は、郵便局へ「転居届」も提出してください。 (引越先によっては、所属学習センター変更を行ってください。)	
氏名等変更届	学部 本部学生課 大学院 全科生…本部教務課 選科生・科目生…本部学生課	変更後すみやかに提出してください。 ※ 学生証の再発行手続きも必要です。(所属学習センター) 一緒に提出してください。	
休学願・復学願 科目履修生・修士科目生は 休学できません。	学部 本部学生課 大学院 全科生…本部教務課 選科生・科目生…本部学生課	☆第2学期から休学又は復学す る場合 システム：4月20日から9月30日まで 郵 送：4月20日から9月25日まで	☆翌年度第1学期から休学又は 復学する場合 システム：10月20日から翌年3月31日まで 郵 送：10月20日から翌年3月25日まで
退学願 科目履修生・修士科目生は 退学できません。	学部 本部学生課 大学院 全科生…本部教務課 選科生・科目生…本部学生課	☆第1学期末で退学する場合 システム：4月20日から9月30日まで 郵 送：4月20日から9月25日まで	☆第2学期末で退学する場合 システム：10月20日から翌年3月31日まで 郵 送：10月20日から翌年3月25日まで
単位認定試験 受験場所変更願 システムWAKABAから も可	学部 本部学生課 大学院 本部学生課	第1学期単位認定試験から変更 4月1日～4月30日 第2学期単位認定試験から変更 7月25日～8月8日	第2学期単位認定試験から変更 10月1日～10月31日 2026年度第1学期科目登録から変更 2026年1月27日～2月6日

諸証明書等

証明書の種類と申請先

証明書の名称		証明書の種類	申請先
①	在学証明書	現在、在学していることの証明	学習センター
②	成績・単位修得証明書	現在までに修得した授業科目の 単位数及び評価の証明	
③	卒業(修了)証明書	卒業(修了)したことの証明	
④	卒業(修了)見込証明書	卒業(修了)する見込みであることの証明	
⑤	在学期間証明書	在学した期間の証明	
⑥	履修証明書	現在履修している科目等の証明	
⑦	教員免許状申請用単位修得証明書	教職及び教科に関する科目の単位数の証明	所属学習センター
	学校図書館司書教諭単位修得証明書	学校図書館司書教諭の講習を修了した 科目の単位修得証明書(修了証書は別扱い)	
	⑧ 資格関係の単位修得証明書	各資格に関連する授業科目の単位数の証明	
	⑨ 大学院受験のための調査書	大学院を受験するための基礎資格等の証明	
⑩	単位認定試験受験証明書	受験をしたことの証明	受験学習センター

○証明書交付願申請様式

証明書の種類によって交付申請書様式が異なりますので、必ず証明書発行申請書を確認してください。交付願申請用紙は「学生生活の葉」巻末に添付されています。

また、システムWAKABAのTOPページ「キャンパスライフ」→「各種届出・申請様式」や放送大学HPの「卒業生の方へ」→「各種証明書の発行について」からダウンロードすることもできます。

必ず、利用目的（教員免許状の場合は提出先）を記入してください。

○発行までの期間

できるだけ早く発行しますが、他の方が先に申請している場合や時期的に発行が重なる場合など時間を要する場合がありますのでご了承ください。

また、教員免許状や特殊な証明書（資格等に関する証明書）は1～2週間程、日数を必要とします。必ず前もって申請書を提出してください。

○交付手数料

交付手数料は1通につき200円です。

交付手数料は申請時に納入してください。

○申請方法（窓口・郵送どちらでも受け付けます）

窓口で請求する場合……………「証明書交付願」・「手数料」をご持参ください。

※「証明書交付願」は窓口にも置いてあります。

郵送（普通郵便）で請求する場合…「**証明書交付願**」・「**手数料**」・「**返信用封筒長形3号**
以上、**切手貼付**、宛名明記」を同封してセンターまで
お送りください。

※手数料は「現金書留」または郵便局で「郵便定額小為替証書」を購入のうえ、お送りください。

※使用する封筒と切手（目安）は1～2通が長形3号（23.5cm×12cm）110円、3～8通程度が角形2号（33.2cm×24cm）180円程度です。（重量超過は差額負担）

学生教育研究災害傷害保険

教育研究活動中の不慮の災害・事故補償のために、学生教育研究災害傷害保険の制度があります。

万一の事故に備え、是非この保険に加入されるようお勧めします。保険料は100円です。詳細については、事務室にお尋ねください。

学習の基本的事項

詳細については、「学生生活の栞」を参照してください。

○学習の方法

・放送授業

放送の視聴と印刷教材（テキスト）による学習とを組み合わせる行う授業で、自宅でのテレビ・ラジオのBS放送視聴、インターネット配信の視聴のほか、センターの視聴学習室での視聴や大学本部からの放送教材の郵送貸出による自宅での視聴ができます。

・オンライン授業

インターネット上で提供される諸情報（映像や資料等）による学習をし、双方向性を活かした設問解答、課題解答、討論への参加等により行う授業です。印刷教材はありません。授業実施や評価の方法は科目により異なりますので、授業科目案内で確認してください。

・面接授業、ライブWeb授業

学習センター等で、教員から直接指導を受ける授業で、全国各センターで開催される面接授業も受けることができます。原則として1時限90分の授業を7回、45分の授業を1回、計8回行い、出席及び学習状況、レポート等により評価され、合格すると1単位が認定されます。

ライブWeb授業はWeb会議システム（Zoom）とオンライン授業の利点を活かした同時双方向型の遠隔授業で自宅のパソコン等で履修します。

受講に当っては、別途送付される面接授業時間割表等の冊子を参照してください。

○Web通信指導

通信指導（レポート）は、原則として第8回までの放送及び印刷教材により行われた授業について自宅等からインターネットを通じてWeb通信指導システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。提出しなかったり、提出しても不合格となった場合は、学期末の単位認定試験の受験資格が認められません。

ただし在籍の場合は次学期に限り、未提出・不合格の科目については科目登録の手続きをしなくてもWeb通信指導が受けられます。郵送提出科目は自動的に再度通信指導が本部から送付されます。

Web通信指導による提出が困難な場合は「学生生活の栞」68～70ページを参照

○Web単位認定試験

各学期末（7月下旬、1月下旬）に「Web受験方式（一部科目については郵送受験方式）」を基本とし実施されます。インターネット環境がない、またはパソコン操作が困難等の事情によりWeb受験が困難な方は入学手続き時に、出願で学習センター受験を選択するかシステムWAKABAで変更手続きを行うことで、単位認定試験を佐賀学習センターで受験することができます。科目登録し、通信指導に合格した方は、その科目の単位認定試験を受験することができます。

「実施方法」および「出題形式」によって試験期間が異なりますのでご注意ください。

実際の受験がスムーズに操作できるよう、使用する予定の端末から必ずWeb単位認定試験操作体験版の操作を行ってください。また、学習センターが開催する同体験会にご参加ください。

自宅等でのWeb受験が困難な場合は「学生生活の栞」73～74ページを参照

○再試験

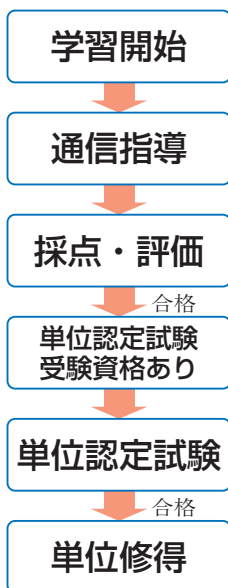
科目登録をした学期において単位認定試験を受験した結果、不合格となった場合又は受験資格があったが受験できなかった場合、次の学期に限り科目登録を行わなくても単位認定試験を受験することができます（受験料不要）。ただし、科目登録した学期で在学期間が終了する方は、改めて次の学期の入学出願を行い、学籍を継続することが必要です。

○学習指導・相談

センター所長及び客員教員が、直接学習上の種々の相談に応じます。

単位修得までの流れ（学部）

今
学
期



未提出

不合格

不合格

学籍の継続が条件

学籍の継続が条件

◎通信指導

放送及び印刷教材により行われた授業について、各学期の途中に1回一定の範囲で出題されます。合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます。

※1

次学期の通信指導については前ページの◎通信指導 ただし書を参照下さい。

◎卒業研究(以下の手続きが必要)

毎年4月から履修開始
前年6月上旬「卒業研究履修の手引」配付
前年8月中旬「卒業研究申請書」提出
審査後 1月履修可否決定、2月科目登録

次
学
期

◎全科履修生・次学期も学籍がある選科履修生

放送大学本部から「科目登録申請要項」が送付されますので、履修しようとする授業科目を記入して本部へ郵送してください。

◎学籍が切れる全科・選科・科目履修生(学部・大学院)

放送大学本部から「継続のご案内」のプリントが送付されますので、継続入学を希望される方はWAKABA「継続入学申請」出願または郵送出願（資料請求で入手）して下さい。

通信指導※1

未提出

不合格

採点・評価

単位認定試験 受験資格あり

単位認定試験

不合格

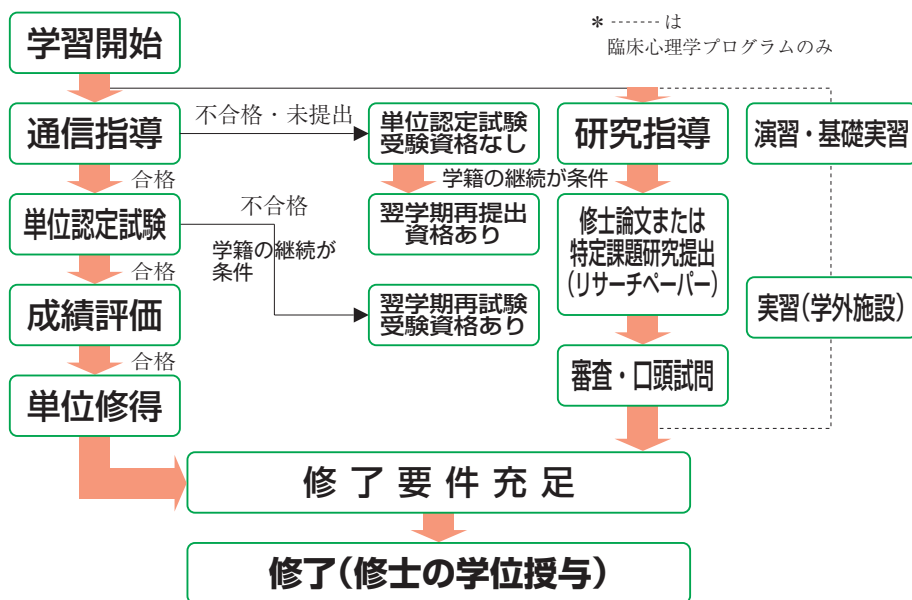
単位修得

単位認定試験 受験資格なし

改めて 科目登録

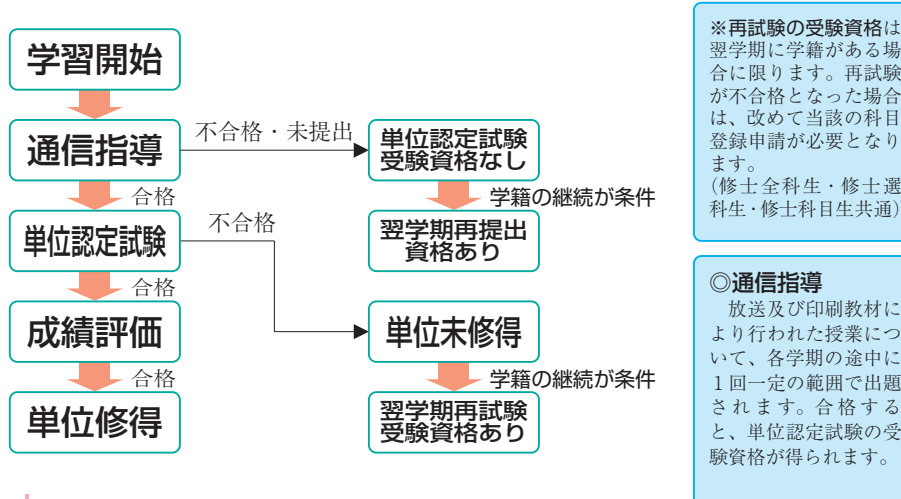
単位修得までの流れ（大学院）

修士全科生 学位取得まで



大学院（修士全科生、博士全科生）に入学するためには前年度8月中旬に出願し、9月末又は10月初めの1次選考（筆記試験）、11月の2次選考（面接試問）に最終合格することが必要です。

修士選科生・修士科目生 単位認定まで



2025年度 学習センター受験者用の単位認定試験時間割（大学院）

第 1 学期 ※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

時限	曜日	7月16日(水)	7月17日(木)
1		現代社会心理学特論（'15） 道徳教育の理念と実践（'20） 社会心理学特論（'25） 臨床心理面接特論Ⅰ（'19） 臨床心理面接特論Ⅰ（'25） 要求工学（'24）	精神医学特論（'22） 海外の教育改革（'21） 経済政策（'22）
2		現実と向き合う政治理論（'22） 臨床心理面接特論Ⅱ（'19） 臨床心理面接特論Ⅱ（'25） コンピューティング（'19） 計算と自然（'25） 日本文学の研究史（'21）	家族政策研究（'21） 教育行政と学校経営（'24） 地域産業の発展と主体形成（'20） 司法矯正・犯罪心理学特論（'20） 美学・芸術学研究（'19）
3		福祉政策と人権（'22） 成人の発達と学習（'19） 成人の発達と学習（'25） 現代物理の展望（'19） 音楽・情報・脳（'23） モダニズムの文学と文化（'21）	ヘルスリサーチの方法論（'19） 看護・保健系調査方法論（'25） 教育心理学特論（'24） 人的資源管理（'22） 障害児・障害者心理学特論（'19） 日本史料を読む（'21）
4		スポーツ・健康医科学（'19） スポーツ社会学（'25） 社会的協力論（'20） 発達心理地域援助特論（'21） ソフトウェア工学（'19） ソフトウェア工学（'25）	健康・スポーツ科学研究（'21） 教育老年学（'22） 学校臨床心理学特論（'21） 朝鮮の歴史と社会－近世近代（'20）
5		生活リスクマネジメント（'17） 生活リスク論（'25） 公共政策（'22） 発達心理学特論（'21） 臨床心理学特論（'23） 計算論（'16）	リスク社会における市民参加（'21） 心理・教育統計法特論（'21） 数理学（'21） 日本文化と思想の展開－内と外と（'22）
6		教育文化の社会学（'17） グローバル時代の教育文化（'25） 臨床心理学研究法特論（'23） 情報デザイン特論（'22） 西洋中世史（'21）	カリキュラムの理論と実践（'21） 保健医療心理学特論（'22） 知財制度論（'20） 異文化との出会い（'22）

（予定）第 2 学期 ※第 2 学期の試験時間割は変更される場合がありますので、必ず2025年度第 2 学期の「授業科目案内」で確認してください。
（予定）第 2 学期 ※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

時限	曜日	1月20日(火)	1月21日(水)
1		カリキュラムの理論と実践（'21） 保健医療心理学特論（'22） 知財制度論（'20） 異文化との出会い（'22）	グローバル時代の教育文化（'25） 臨床心理学研究法特論（'23） 情報デザイン特論（'22） 西洋中世史（'21）
2		精神医学特論（'22） 海外の教育改革（'21） 経済政策（'22）	道徳教育の理念と実践（'20） 社会心理学特論（'25） 臨床心理面接特論Ⅰ（'25） 要求工学（'24）
3		家族政策研究（'21） 教育行政と学校経営（'24） 地域産業の発展と主体形成（'20） 司法矯正・犯罪心理学特論（'20） 美学・芸術学研究（'19）	現実と向き合う政治理論（'22） 臨床心理面接特論Ⅱ（'25） 計算と自然（'25） 日本文学の研究史（'21）
4		看護・保健系調査方法論（'25） 教育心理学特論（'24） 人的資源管理（'22） 障害児・障害者心理学特論（'19） 日本史料を読む（'21）	福祉政策と人権（'22） 成人の発達と学習（'25） 現代物理の展望（'19） 音楽・情報・脳（'23） モダニズムの文学と文化（'21）
5		健康・スポーツ科学研究（'21） 教育老年学（'22） 学校臨床心理学特論（'21） 朝鮮の歴史と社会－近世近代（'20）	スポーツ社会学（'25） 社会的協力論（'20） 臨床心理地域援助特論（'21） ソフトウェア工学（'25）
6		心理・教育統計法特論（'21） 数理学（'21） 日本文化と思想の展開－内と外と（'22）	生活リスク論（'25） 公共政策（'22） 発達心理学特論（'21） 臨床心理学特論（'23） 計算論（'16）

※ 赤字は2024年度開講予定科目（再試験科目）再試験受験者のみが受験対象となり、第 2 学期以降は実施しません。
※ 青字は2025年度新規開講予定科目

2025年度第1学期 学習センター受験者用の単位認定試験時間割（学部）

曜日 時限	7月16日(水)	7月17日(木)	7月18日(金)
1 9:45 ↓ 10:35	問題解決の進め方（'19） 問題解決の進め方（'25） 心理臨床における法・倫理・制度（'21） 太陽と太陽系の科学（'18） ユーザ調査法（'20） 現代を生きるための化学（'22） 成人看護学（'24） 小学校外国語教育教授基礎論（'17）	社会と産業の倫理（'21） 身近な統計（'24） 情報学へのとびら（'22） 博物館経営論（'23） 教育のためのICT活用（'22） データ構造の基礎（'24） 心理学概論（'24） 社会統計学入門（'24）	英語で読む大統領演説（'20） リスク社会の家族変動（'20） 社会福祉実践とは何か（'22） 進化心理学（'23） 世界の学校（'24） 管理会計（'22） 簿記入門（'22） 貧困の諸相（'23） 物理の世界（'24）
2 11:00 ↓ 11:50	市民自治の知識と実践（'21） 新時代の生徒指導（'23） 現代の国際政治（'22） 現代アメリカの政治と社会（'24） 大学マネジメント論（'20） 文学批評への招待（'18） 都市から見るヨーロッパ史（'21） 政治学入門（'22） かたちの化学－化学の考え方入門（'23） 母性看護学（'20）	高齢期を支える（'23） 民法（'22） 博物館情報・メディア論（'18） 現代に生きる現象学（'23） 博物館情報・メディア論（'25） 教育・学校心理学（'20） 社会調査の基礎（'19） 社会学概論（'21） 社会学概論（'25） 総合人類学としてのヒト学（'18）	ライフステージと社会保障（'20） 乳幼児の保育・教育（'21） 環境と持続可能な経済発展（'24） 経営情報学入門（'23） 感覚と応答の生物学（'23） Webのしくみと応用（'19） ヒューマンインタフェース（'23） Webのしくみと応用（'25） 健康と社会（'23） 健康長寿のためのスポーツロジック（'24）
3 12:45 ↓ 13:35	神経・生理心理学（'22） 日本政治外交史（'25） 日本政治外交史（'19） 韓国朝鮮の歴史と文化（'21） 西洋哲学の根源（'22） 小児看護学（'22） 世界の中の日本外交（'21）	日本語リテラシー（'21） 教育調査の基礎（'20） 心理カウンセリング序説（'21） 現代国際社会と有機農業（'23） 日本経済の比較史（'24） 災害社会学（'20） ヨーロッパ文学の読み方－近代篇（'19） 人文地理学からみる世界（'22）	認知症と生きる（'21） 心理職の専門性（'20） 企業経営の国際展開（'25） 国際経営（'19） 宇宙の誕生と進化（'19） 量子物理学（'21） 解析入門（'24） 疾病の成立と回復促進（'25） 世界文学への招待（'22） 初歩からの物理（'22）
4 14:00 ↓ 14:50	看護学概説（'22） 学校と法（'24） コミュニティと教育（'24） 世界文学の古典を読む（'20） 近現代ヨーロッパの歴史（'22） 原初からへの思索（'22） 現代教育入門（'21） グローバル化時代の日本国憲法（'19） 分子の変化からみた世界（'23） 空間と政治（'22）	初歩からの数学（'18） 西アジアの歴史（'24） データの分析と知識発見（'24） 暮らしに活かす不動産学（'22） 多文化共生のコミュニケーション（'24） 宮沢賢治と宇宙（'24）	コミュニティがつなぐ安全・安心（'20） ソーシャルシティ（'23） 学校リスク論（'22） サービスサイエンス（'23） 西洋音楽史（'21） 疾病の回復を促進する薬（'21） 疾病の回復を促進する薬（'25） 日常生活のデジタルメディア（'22） レジリエンスの科学（'24） AIシステムと人・社会との関係（'20）
5 15:15 ↓ 16:05	国際理解のために（'19） 初歩のロシア語（'22） 社会政策の国際動向と日本の位置（'23） 社会教育経営実践論（'22） 生涯学習支援の理論と実践（'22） フードシステムと日本農業（'22） 漢文の読み方（'19） 哲学・思想を今考える（'23） 老年看護学（'19） 老年看護学（'25）	より良い思考の技法（'23） 心理学研究法（'20） 刑法と生命（'21） 会計学（'24） 古代中世の日本（'23） アメリカ史：世界史の中で考える（'24） 原典で読む日本の思想（'24） 健康への力の探究（'19）	看護管理と医療安全（'24） 心理学統計法（'21） 雇用社会と法（'21） 博物館展示論（'16） 博物館展示論（'25） 植物の科学（'21） 情報デザイン（'21） 記号論理学（'24） 地域生活を支える社会福祉と法（'24） エネルギーと社会（'19）
6 16:30 ↓ 17:20	生活環境と情報認知（'20） 地域福祉の課題と展望（'22） 学校図書館サービス論（'21） 日本政治思想史（'21） 西洋政治思想の文脈（'25） 西洋の美学・美術史（'24） 日本近現代史（'21） 精神看護学（'19） 精神看護学（'25）	食と健康（'24） 日本の文化と教育（'23） 数学の歴史（'19） 数学の歴史（'25） コンピュータの動作と管理（'17） 情報社会のユニバーサルデザイン（'19） 映像コンテンツの制作技術（'20） 情報化社会におけるメディア教育（'24） 生活を支えるコンピュータ技術（仮）（'25） 映像コンテンツの制作技術（'25）	子どもの人権をどうまもるのか（'21） リスクコミュニケーションの探究（'23） 公衆衛生（'24） 産業・組織心理学（'20） 精神分析とユング心理学（'23） 地球温暖化と社会インベーション（'18） 生物環境の科学（'16） 生物環境の科学（'25） 暮らしに役立つバイオサイエンス（'21） ジオストーリー（'25）

※ 赤字は2024年度開講予定科目（再試験科目）再試験受験者のみが受験対象となり、第2学期以降は実施しません。
※ 青字は2025年度新規開講予定科目
※ 元夏季集中（看護）科目 看護師養成所で概ね必修科目（多くの学校で必修となっている科目）
試験のあるオンライン授業科目
※ 郵送受験方式の4科目（「行政学講説（'24）」、「正多面体と素数（'21）」、「日本美術史の近代とその外部（'18）」、「量子化学（'19）」については、時間割に記載しない

※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

7月19日(土)	7月20日(日)	7月22日(火)
錯覚の科学 (20) 教育の行政・政治・経営 (23) 日本の近世 (20) 博物館教育論 (22) 感染症と生体防御 (24) 情報理論とデジタル表現 (19) 入門線型代数 (19) 環境と社会 (21)	乳幼児・児童の心理臨床 (17) 人生100年時代の家族と法 (23) イノベーション・マネジメント (23) 新興アジアの政治と経済 (24) 身近なネットワークサービス (20) アルゴリズムとプログラミング (20) 人体の構造と機能 (22) 情報社会と国際ボランティア活動 (24)	地理空間情報の基礎と活用 (22) 食の安全 (21) 食の安全 (25) 思春期・青年期の心理臨床 (19) 食糧と社会 (20) 情報と社会 (23) 一般市民のための法学入門 (23) 色を探究する (23)
心理と教育へのいざない (24) 家族問題と家族支援 (20) サプライチェーン・マネジメント (21) 生物の進化と多様化の科学 (17) エントロピーからはじめる熱力学 (20) コンピュータソフトウェア (18) 数値の処理と数値解析 (22) 睡眠と健康 (21) 睡眠と健康 (25)	中国語Ⅱ (23) 初歩のスペイン語 (25) 障害者の自立と制度 (24) 幼児理解の理論及び方法 (15) 肢体不自由児の教育 (20) 道徳教育論 (21) 「方丈記」と『徒然草』 (18) 英米哲学の挑戦 (23) 問題解決の数理 (21) 歴史のなかの人間 (22)	自然科学はじめの一步 (22) 社会・集団・家族心理学 (20) 臨床心理学概論 (20) 著作権法 (22) 「人新世」時代の文化人類学 (20) 自然言語処理 (23) 教育社会学概論 (19) 教育の社会学 (25) 経済社会を考える (19) 社会経済の基礎 (25)
ビートルズ de 英文法 (21) ビートルズ de 英文法 (仮) (25) ドイツ語Ⅰ (23) 中国語Ⅰ (23) 韓国語Ⅱ (20) 韓国語Ⅱ (25) フィールドワークと民族誌 (24)	リハビリテーション (19) リハビリテーション (25) 日本の教職論 (22) 財政と現代の経済社会 (19) 場と時間空間の物理 (20) 疾病の成立と回復促進 (21) 発達心理学概論 (17) 海からみた産業と日本 (22)	日本語アカデミックライティング (22) 認知行動療法 (20) イメージの力 (24) 舞台芸術の魅力 (17) 統計学 (19) 経営学入門 (24) ダイナミックな地球 (21) 初歩からの生物学 (24) 情報技術が拓く人間理解 (20)
基礎看護学 (24) 知覚・認知心理学 (23) NPO・NGOの世界 (21) ファイナンス入門 (23) NPO・NGOの世界 (25) 権口一葉の世界 (23) はじめての気象学 (21) データベース (23) 初歩からの化学 (18)	地域・在宅看護論 (23) 教育課程の意義及び編成の方法 (15) 現代の家庭教育 (18) 知的障害教育総論 (20) 心理的アセスメント (20) 知的障害教育総論 (25) 行政法 (22) メディア論 (22) 日本文学と和歌 (21)	感情・人格心理学 (21) 福祉心理学 (21) 現代の内部監査 (22) マーケティング (21) マーケティング (25) 生命分子と細胞の科学 (19) 微分方程式 (23) 画像処理 (24) 「枕草子」の世界 (24)
遠隔学習のためのパソコン活用 (21) 遠隔学習のためのパソコン活用 (25) 司法・犯罪心理学 (20) 国際法 (25) 国際法 (19) テーマで学ぶ日本教育史 (24) 日本語学入門 (20) 計算の科学と手引き (19) 初歩からの情報科学 (25)	精神疾患とその治療 (20) 特別支援教育総論 (19) 幼児教育の指導法 (22) 特別支援教育総論 (25) 市民生活と裁判 (22) アメリカの芸術と文化 (19) 中国と東部ヨーロッパの歴史 (20) 映画芸術への招待 (25) コンピュータ通信概論 (24) 住まいの環境論 (23)	運動と健康 (22) ドイツ語Ⅱ (23) フランス語Ⅱ (24) 災害看護学・国際看護学 (20) 環境を可視化する技術と応用 (23) 博物館資料保存論 (19) 博物館資料保存論 (25) 生活経済学 (20) 生活経済学 (25) グリーンサポートと死生学 (24)
英語で「道」を語る (21) 持続可能な社会と生活 (23) 人間・環境情報とDX (25) 中高年の心理臨床 (20) ヨーロッパ政治史 (24) これからの住まいと建築 (25) 力と運動の物理 (19) 社会福祉―新しい地平を拓く (22)	今日のメンタルヘルス (23) 学習・言語心理学 (21) 学習・言語心理学 (25) SDGs下のアジア産業論 (23) 都市と地域の社会学 (24) 現代経済学 (19) 情報セキュリティ概論 (22)	グローバル時代の英語 (22) フランス語Ⅰ (24) 韓国語Ⅰ (20) 韓国語Ⅰ (25) 障害者・障害児心理学 (21) 線型代数 (17) 博物館概論 (23) 日本語教育学入門 (24) 入門微分積分 (22)

2025年度第2学期 学習センター受験者用の単位認定試験時間割（学部・予定）

曜日 時限	1月20日(火)	1月21日(水)	1月22日(木)
1 9:45 ↓ 10:35	国際理解のために（'19） 初歩のロシア語（'22） 社会政策の国際動向と日本の位置（'23） 社会教育経営実践論（'22） 生涯学習支援の理論と実践（'22） フードシステムと日本農業（'22） 哲学・思想を今考える（'23） 老年看護学（'25）	より良い思考の技法（'23） 心理学研究法（'20） 刑法と生命（'21） 会計学（'24） 古代中世の日本（'23） アメリカ史：世界史の中で考える（'24） 原典で読む日本の思想（'24） 健康への力の探究（'19）	運動と健康（'22） ドイツ語Ⅱ（'23） フランス語Ⅱ（'24） 災害看護学・国際看護学（'20） 環境を可視化する技術と応用（'23） 博物館資料保存論（'25） 生活経済学（'25） グリーンサポートと死生学（'24）
2 11:00 ↓ 11:50	地域福祉の課題と展望（'22） 学校図書館サービス論（'21） 西洋政治思想の文脈（'25） 西洋の美学・美術史（'24） 日本近現代史（'21） 精神看護学（'25）	食と健康（'24） 日本の文化と教育（'23） 数学の歴史（'25） 情報社会のユニバーサルデザイン（'19） 情報化社会におけるメディア教育（'24） 生活を支えるコンピュータ技術（仮）（'25） 映像コンテンツの制作技術（'25）	ビートルズ de 英文法（仮）（'25） ドイツ語Ⅰ（'23） 中国語Ⅰ（'23） 韓国語Ⅱ（'25） フィールドワークと民族誌（'24）
3 12:45 ↓ 13:35	問題解決の進め方（'25） 心理臨床における法・倫理・制度（'21） 太陽と太陽系の科学（'18） ユーザ調査法（'20） 現代を生きるための化学（'22） 成人看護学（'24）	感情・人格心理学（'21） 福祉心理学（'21） 現代の内部監査（'22） マーケティング（'25） 生命分子と細胞の科学（'19） 微分方程式（'23） 画像処理（'24） 「枕草子」の世界（'24）	社会と産業の倫理（'21） 身近な統計（'24） 情報学へのとびら（'22） 博物館経営論（'23） 教育のためのICT活用（'22） データ構造の基礎（'24） 心理学概論（'24） 社会統計学入門（'24）
4 14:00 ↓ 14:50	市民自治の知識と実践（'21） 新時代の生徒指導（'23） 現代の国際政治（'22） 現代アメリカの政治と社会（'24） 大学マネジメント論（'20） 文学批評への招待（'18） 都市から見るヨーロッパ史（'21） 政治学入門（'22） かたちの化学－化学の考え方入門（'23） 母性看護学（'20）	高齢期を支える（'23） 民法（'22） 現代に生きる現象学（'23） 博物館情報・メディア論（'25） 教育・学校心理学（'20） 社会調査の基礎（'19） 社会学概論（'25） 総合人類学としてのヒト学（'18）	英語で読む大統領演説（'20） リスク社会の家族変動（'20） 社会福祉実践とは何か（'22） 進化心理学（'23） 世界の学校（'24） 管理会計（'22） 簿記入門（'22） 貧困の諸相（'23） 物理の世界（'24）
5 15:15 ↓ 16:05	神経・生理心理学（'22） 日本政治外交史（'25） 文学・芸術・武選にみる日本文化（'19） 韓国朝鮮の歴史と文化（'21） 西洋哲学の根源（'22） 小児看護学（'22） 世界の中の日本外交（'21）	日本語リテラシー（'21） 教育調査の基礎（'20） 心理カウンセリング序説（'21） 現代国際社会と有機農業（'23） 日本経済の比較史（'24） 災害社会学（'20） ヨーロッパ文学の読み方－近代篇（'19） 人文地理学からみる世界（'22）	ライフステージと社会保障（'20） 乳幼児の保育・教育（'21） 環境と持続可能な経済発展（'24） 経営情報学入門（'23） 感覚と応答の生物学（'23） ヒューマンインタフェース（'23） Webのしくみと応用（'25） 健康と社会（'23） 健康長寿のためのスポーツロジ（'24）
6 16:30 ↓ 17:20	看護学概説（'22） 学校と法（'24） コミュニティと教育（'24） 世界文学の古典を読む（'20） 近現代ヨーロッパの歴史（'22） 原初から／への思索（'22） 現代教育入門（'21） グローバル化時代の日本憲法（'19） 分子の変化からみた世界（'23） 空間と政治（'22）	初歩からの数学（'18） 西アジアの歴史（'24） データの分析と知識発見（'24） 暮らしに活かす不動産学（'22） 多文化共生のコミュニケーション（'24） 富沢賢治と宇宙（'24）	認知症と生きる（'21） 心理職の専門性（'20） 企業経営の国際展開（'25） 宇宙の誕生と進化（'19） 量子物理学（'21） 解析入門（'24） 疾病の成立と回復促進（'25） 世界文学への招待（'22） 初歩からの物理（'22）

※ 青字は2025年度新規開講予定科目
元夏季集中（看護）科目 看護師養成所で概ね必修科目（多くの学校で必修となっている科目）
試験のあるオンライン授業科目
※ 郵送受験方式の4科目（「行政学講読（'24）」、「正多面体と素数（'21）」、「日本美術史の近代とその外部（'18）」、「量子化学（'19）」）については、時間割に記載しない

※第2学期の試験時間割は変更される場合がありますので、必ず2025年度第2学期の「授業科目案内」で確認してください。
※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

1月23日(金)	1月24日(土)	1月25日(日)
コミュニティがつなぐ安全・安心（'20） ソーシャルシティ（'23） 学校リスク論（'22） サービスサイエンス（'23） 西洋音楽史（'21） 疾病の回復を促進する薬（'25） 日常生活のデジタルメディア（'22） レジリエンスの科学（'24） AIシステムと人・社会との関係（'20）	遠隔学習のためのパソコン活用（'25） 司法・犯罪心理学（'20） 国際法（'25） テーマで学ぶ日本教育史（'24） 日本語学入門（'20） 初歩からの情報科学（'25）	英語で「道」を読む（'21） 持続可能な社会と生活（'23） 人間・環境情報とDX（'25） 中高年の心理臨床（'20） ヨーロッパ政治史（'24） これからの住まいと建築（'25） 力と運動の物理（'19） 社会福祉－新しい地帯を拓く（'22）
看護管理と医療安全（'24） 心理学統計法（'21） 雇用社会と法（'21） 博物館展示論（'25） 植物の科学（'21） 情報デザイン（'21） 記号論理学（'24） 地域生活を支える社会福祉と法（'24） エネルギーと社会（'19）	地域・在宅看護論（'23） 教育課程の意義及び編成の方法（'15） 現代の家庭教育（'18） 心理的アセスメント（'20） 知的障害教育総論（'25） 行政法（'22） メディア論（'22） 日本文学と和歌（'21）	乳幼児・児童の心理臨床（'17） 人生100年時代の家族と法（'23） イノベーション・マネジメント（'23） 新興アジアの政治と経済（'24） 身近なネットワークサービス（'20） アルゴリズムとプログラミング（'20） 人体の構造と機能（'22） 情報社会と国際ボランティア活動（'24）
子どもの人権をどうまもるのか（'21） リスクコミュニケーションの探究（'23） 公衆衛生（'24） 産業・組織心理学（'20） 精神分析とユング心理学（'23） 生物環境の科学（'25） 暮らしに役立つバイオサイエンス（'21） ジオストーリー（'25）	グローバル時代の英語（'22） フランス語Ⅰ（'24） 韓国語Ⅰ（'25） 障害者・障害児心理学（'21） 線形代数学（'17） 博物館概論（'23） 日本語教育学入門（'24） 入門積分微分（'22）	今日のメンタルヘルス（'23） 学習・言語心理学（'25） SDGs下のアジア産業論（'23） 都市と地域の社会学（'24） 現代経済学（'19） 情報セキュリティ概論（'22）
錯覚の科学（'20） 教育の行政・政治・経営（'23） 日本の近世（'20） 博物館教育論（'22） 感染症と生体防御（'24） 情報理論とデジタル表現（'19） 入門線型代数（'19） 環境と社会（'21）	中国語Ⅱ（'23） 初歩のスペイン語（'25） 障害者の自立と制度（'24） 幼児理解の理論及び方法（'15） 肢体不自由児の教育（'20） 道徳教育論（'21） 『方丈記』と『徒然草』（'18） 英米哲学の挑戦（'23） 問題解決の数理（'21） 歴史のなかの人間（'22）	地理空間情報の基礎と活用（'22） 食の安全（'25） 思春期・青年期の心理臨床（'19） 金融と社会（'20） 情報と法（'23） 一般市民のための法学入門（'23） 色を探究する（'23）
心理と教育へのいざない（'24） 家族問題と家族支援（'20） 生物の進化と多様化の科学（'17） エントロピーからはじめる熱力学（'20） コンピュータとソフトウェア（'18） 数値の処理と数値解析（'22） 睡眠と健康（'25）	リハビリテーション（'25） 日本の教職論（'22） 財政と現代の経済社会（'19） 場と時間空間の物理（'20） 発達心理学概論（'17） 海からみた産業と日本（'22）	自然科学をはじめの一步（'22） 社会・集団・家族心理学（'20） 臨床心理学概論（'20） 著作権法（'22） 「人新世」時代の文化人類学（'20） 自然言語処理（'23） 教育の社会学（'25） 社会経済の基礎（'25）
基礎看護学（'24） 知覚・認知心理学（'23） ファイナンス入門（'23） NPO・NGOの世界（'25） 権口一葉の世界（'23） はじめての気象学（'21） データベース（'23） 初歩からの化学（'18）	精神疾患とその治療（'20） 幼児教育の指導法（'22） 特別支援教育総論（'25） 市民生活と裁判（'22） 中国と東部ユーラシアの歴史（'20） 映画芸術への招待（'25） コンピュータ通信概論（'24） 住まいの環境論（'23）	日本語アカデミックライティング（'22） 認知行動療法（'20） イメージの力（'24） 舞台芸術の魅力（'17） 統計学（'19） 経営学入門（'24） ダイナミックな地球（'21） 初歩からの生物学（'24） 情報技術が拓く人間理解（'20）

2025年度学年暦

【第1学期】

月	4月	5月	6月
日曜	事項	事項	事項
1 火	第1学期放送授業開始 集中科目募集要項配布（～5/31） （電子化予定の為2024年度参考）	第1学期ライブWeb授業開始（～7/10） 集中科目履修生等科目登録（～5/31） （電子化予定の為2024年度参考）	日 面接授業（日高）（堀）
2 水		金	月 月曜閉所日
3 木		土 閉所日 祝日（憲法記念日）	火
4 金	第1学期オンライン授業開始（～7月中旬）	日 閉所日 祝日（みどりの日）	水
5 土		月 月曜閉所日 祝日（こどもの日）	木
6 日		火 閉所日 祝日（振替休日）	金
7 月	月曜閉所日	水	土 面接授業（橋口）（安田）
8 火		木 通信指導提出期間（～5/28）	日 ↓（橋口）（安田）
9 水		金	月 月曜閉所日
10 木		土 面接授業（鈴田）（山崎）	火 2025年度第2学期出願受付開始（第1回～8/29） 2026年度大学院修士（博士） 全科目募集要項配布（～8/25）
11 金	第1学期面接授業空席発表 面接授業追加登録開始（～7/13）	日 ↓（鈴田）（山崎）	水
12 土	第1学期面接授業開始（～7/27）	月 月曜閉所日	木
13 日		火	金
14 月	月曜閉所日	水	土 面接授業（松山）（中村）
15 火		木	日 ↓（松山）（中村）
16 水		金	月 月曜閉所日
17 木		土 面接授業（大野他）	火
18 金		日	水 Web単位認定試験操作体験会（予定）
19 土	面接授業（井出）（徳田）	月 月曜閉所日	木
20 日	↓（井出）（徳田）	火	金
21 月	月曜閉所日	水	土
22 火		木	日
23 水		金	月 月曜閉所日
24 木		土 面接授業（岡嶋）（大野他）	火
25 金		日 ↓（岡嶋）	水
26 土	面接授業（中尾）（原田）	月 月曜閉所日	木
27 日	↓（中尾）（原田）	火	金
28 月	閉所日	水	土
29 火	閉所日 祝日（昭和の日）	木	日
30 水		金	月 月曜閉所日
31		土 面接授業（日高）（堀）	

2025年度第2期学生募集出願受付（第1回6/10～7/29）（第2回7/30～9/11）

2026年度卒業研究履修の手引の配布（6月上旬～）

月	7 月		8 月		9 月	
日 曜	事 項		曜	事 項	曜	事 項
1 火			金		月	月曜閉所日
2 水			土		火	
3 木			日		水	
4 金			月	月曜閉所日	木	
5 土	Web単位認定試験操作体験会（予定）		火		金	
6 日			水		土	
7 月	月曜閉所日		木	2026年度卒業研究履修申請（新規）受付（郵送・Web～8/14） 単位認定試験成績確定（WAKABA）	日	
8 火			金	卒業認定（WAKABA）	月	月曜閉所日
9 水			土		火	
10 木			日		水	
11 金			月	月曜閉所日 祝日（山の日）	木	2025年度第2学期出願受付終了（第2回）
12 土			火	閉所日	金	
13 日			水	閉所日 成績・卒業認定	土	
14 月	月曜閉所日 放送授業終了		木	閉所日	日	
15 火	夏期学習期間＝再放送等（～9/30） （電子化予定の為2024年度参考）		金	閉所日 第2学期科目登録申請受付開始（面接授業含む） （郵送～8/28、Web～8/29） 2026年度大学院修士（博士）全科生出願受付開始（郵送・Web～8/25） 集中科目履修生通信指導提出期限（予定） 成績発表（WAKABA）	月	月曜閉所日 祝日（敬老の日）
16 水	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部）		土		火	
17 木	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部） 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		日		水	
18 金	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部） 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		月	月曜閉所日	木	
19 土	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部） 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		火	単位認定試験成績通知発送	金	
20 日	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部） 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】 集中科目履修生放送授業（～8/4） （電子化予定の為2024年度参考）		水		土	
21 月	月曜閉所日 祝日（海の日） ☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部）		木		日	
22 火	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部）		金		月	月曜閉所日
23 水	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部）		土		火	閉所日 祝日（秋分の日）
24 木	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部）		日		水	
25 金			月	月曜閉所日 2026年度大学院修士（博士）全科生出願受付終了	木	
26 土			火		金	
27 日			水		土	
28 月	月曜閉所日		木		日	第1学期学位記授与式・第2学期入学者の集い
29 火			金	2025年度第2学期出願受付終了（第1回）	月	月曜閉所日
30 水			土	第1学期オンライン授業閲覧期限 2025年度第2学期出願受付開始（第2回～9/11）	火	
31 木	体育実技単位認定申請期限		日			

第1学期試験通知発送（7月上旬）

【注意】単位認定試験は試験の実施方法（Web/郵送）および出願形式（択一式/記述式/併用式）によって試験期間が異なります。（学生生活の葉67～82ページ学部・72～86ページ大学院）

《第2学期》

月	10月	11月	12月
日曜	事項	事項	事項
1 水	第2学期放送授業開始	第2学期ライブWeb授業開始（～1/10） 2025年度卒業研究報告書提出期限 面接授業（中谷）	月 月曜閉所日
2 木		↓（中谷）	火
3 金	第2学期オンライン授業開始（～1月中旬）	月 月曜閉所日 祝日（文化の日）	水
4 土	2026年度大学院修士（博士）全生第1次選考（筆記）	火	木
5 日		水	金
6 月	月曜閉所日	木 通信指導提出期間（～11/26）	土 面接授業（田中）
7 火	集中科目履修生単位認定試験課題提出期限 （電子化予定の為2024年度参考）	金	日 ↓（田中）
8 水		土 面接授業（藤井）（吉住）	月 月曜閉所日
9 木		日 ↓（藤井）（吉住）	火
10 金		月 月曜閉所日	水
11 土		火	木
12 日	2026年度大学院修士（博士）全生第1次選考（筆記）（予備日）	水	金
13 月	月曜閉所日 祝日（スポーツの日）	木 卒業研究履修希望二次申請（履修否決定者）受付（郵送・Web～11/20）	土 面接授業（和久屋）
14 火		金	日 ↓（和久屋）
15 水		土 2026年度大学院修士全生第2次選考（面接試験） 面接授業（寺本）（中島）	月 月曜閉所日
16 木		日 2026年度大学院修士全生第2次選考（面接試験） ↓（寺本）	火
17 金		月 月曜閉所日	水
18 土	第2学期面接授業空席発表 面接授業追加登録開始（～1/18） 第2学期面接授業（～1/25） 面接授業（中尾）（船久保）	火	木
19 日	↓（中尾）（船久保）	水	金 2026年度大学院修士（博士）全生 最終可否通知
20 月	月曜閉所日	木	土 面接授業（田口）（木原）
21 火		金	日 ↓（田口）（木原）
22 水		土	月 月曜閉所日
23 木		日 閉所日 祝日（勤労感謝の日） 2026年度大学院修士・博士全生第2次選考（面接試験）（予備日）	火
24 金		月 月曜閉所日	水 Web単位認定試験操作体験会（予定）
25 土	面接授業（宮武）	火	木
26 日	↓（宮武）	水	金
27 月	月曜閉所日	木	土
28 火		金 集中科目履修生成績認定 （電子化予定の為2024年度参考）	日
29 水		土 集中科目履修生成績通知発送 （電子化予定の為2024年度参考） 面接授業（中島）	月 月曜閉所日（年末）
30 木		日 2026年度第1学期出願受付開始（第1回11月下旬～2/28）	火 閉所日（年末）
31 金	2026年度大学院修士（博士）全生第1次選考（筆記）可否通知		水 閉所日（年末）

2026年度第1学期学生募集出願受付（第1回11月下旬～2/28）（第2回3/1～中旬） 第2学期試験通知発送（12月下旬）※面接授業の開設日は予定です
2025年度卒業研究面接審査（12月上旬～1月上旬）

月	1 月		2 月		3 月	
日 曜	事 項		曜	事 項	曜	事 項
1 木	閉所日（年始）		日		日	2026年度第1学期出願受付開始（第2回～3月中旬）
2 金	閉所日（年始）		月	月曜閉所日	月	月曜閉所日 第2学期オンライン授業閲覧期限
3 土	閉所日（年始）		火		火	
4 日	Web単位認定試験操作体験会（予定）		水		水	
5 月	月曜閉所日		木	成績確定（WAKABA）	木	
6 火			金	卒業認定（WAKABA）	金	
7 水			土		土	
8 木			日		日	
9 金			月	月曜閉所日	月	月曜閉所日
10 土	面接授業（小林）（山本）		火		火	
11 日	（小林）（山本）		水	閉所日 祝日（建国記念の日）	水	
12 月	月曜閉所日 祝日（成人の日）		木	成績・卒業認定	木	
13 火	第2学期放送授業終了		金	成績発表（WAKABA） 2026年度第1学期科目登録申請受付 （面接授業を含む）（郵送～2/27、Web～2/28）	金	
14 水			土		土	
15 木			日		日	
16 金			月	月曜閉所日	月	月曜閉所日
17 土			火	単位認定試験成績通知発送	火	
18 日	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部）		水		水	
19 月	月曜閉所日 ☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部）		木		木	
20 火	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部）		金		金	閉所日 祝日（春分の日）
21 水	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部） 冬期学習期間＝再放送等（～3/31）		土		土	
22 木	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部） 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		日		日	
23 金	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部） 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		月	月曜閉所日 祝日（天皇誕生日）	月	月曜閉所日
24 土	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部） 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		火		火	
25 日	☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部） 【佐賀学習センターWeb単位認定試験実施予定】		水		水	
26 月	月曜閉所日 ☆単位認定試験Web受験方式（大学院・学部）		木		木	
27 火			金		金	
28 水			土	2026年度第1学期出願受付終了（第1回）	土	
29 木					日	第2学期学位記授与式・第1学期入学者の集い
30 金					月	月曜閉所日
31 土	卒業研究再履修申請（不合格者）受付（～2/6） 体育実技単位認定申請期限 卒業研究成績認定（下旬）				火	

※ 面接授業の開設日は予定です 3月下旬 学位記授与式（本部主催） 3月中旬 集中科目履修生修了証書発送

【注意】単位認定試験は試験の実施方法（Web/郵送）および出願形式（択一式/記述式/併用式）によつて試験期間が異なります。（学生生活の栞67～82ページ学部・72～86ページ大学院）

登録科目名等のメモ

1 学 期

学生の種類	学 生 番 号								学生証の有効期限	氏 名
				—				—	年 月末まで	

●放送授業・オンライン授業・ライブWeb授業

[illegible]

●面接授業

登 録 科 目 名	受 講 日	時 間
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :

2 学 期

学生の種類	学 生 番 号								学生証の有効期限	氏 名
			-						年 月末まで	

●放送授業・オンライン授業・ライブWeb授業

[illegible]

●面接授業

登 録 科 目 名	受 講 日	時 間
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :

学習進度チェック表

- (注1) ① 学習は、15章からなる印刷教材での学習とそれに対応する15回の放送授業の視聴が1つのセットとなります。
- ② 各回の学習を終えたら、「印刷教材による学習」「放送授業の視聴による学習」のそれぞれの回の欄をチェックしたり日付を記入して、学習の進み具合を記録しましょう。
- ③ 通信指導の課題提出は、余裕を持って提出しましょう。
- (注2) オンライン授業は、科目毎に学習内容、通信指導の有無、単位認定試験の有無が異なっていますので、必ずシラバス及び開講後の案内を確認するとともに、オンライン授業システムで自分の学習状況を確認するようにしてください。

年度・学期	年度 第 学期																			
授業科目名																				
印刷教材による学習	1	2	3	4	5	6	7	8	☐ 通信指導の提出 (締切)	9	10	11	12	13	☐ 通信指導結果の受け取り (試験一週間前まで)	☐ 受験票の受け取り (試験一週間前まで)	14	15	☐ 単位認定試験受験 ()	☐ 成績評価の受け取り ()
	放送授業の視聴による学習	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12			13	14		
備考									月 日 時 分 秒						月 日 時 分 秒					

※この「学習進度チェック表」は授業科目ごとにコピーしてご使用ください。

課外活動等紹介

○サークル活動等

当センターでは、第3土曜日にアバンセ4階の研修室において、中国語サークル（13：00～14：30）、英語サークル（15：00～16：30）が活動を行っています。

また、アバンセ4階の佐賀学習センター学生等交流室において4人の客員教員による月1回の「マンスリー・ゼミ」が開催されます。ゼミの名称は「イタリア語入門」、「現代社会での情報技術の活用」、「江戸時代佐賀の歴史」「量子情報入門」です。具体的な日程・時間はセンター掲示板、センターのホームページ、機関誌「バルーン」に掲載されますので、ご覧ください。

なお、各サークル、マンスリー・ゼミに参加ご希望の方は、事前に事務局までご連絡ください。



中国語サークルの風景



イタリア語入門ゼミの風景



現代社会での情報技術の活用ゼミ風景

○学生研修旅行

当センターでは、地域の歴史や文化について学び、知識を深めるとともに、学生相互及び教職員との親睦・交流を図るため、学生研修旅行を、年1回（日帰り）実施しています。

○機関誌

当センターでは、機関誌「バルーン」を4月、7月、10月、1月の年4回発行しています。単位認定試験や通信指導などのお知らせ、催し物のご案内やスケジュール、あるいは教職員や皆さんから寄せられたご意見、ご感想など様々な情報を掲載しています。

2025年度より、配付方法が変更になりました。紙媒体での送付は4月(在学生、新入生)、10月(新入生)のみとなり、それ以外はWebでの発行となります。佐賀学習センターのホームページに掲載していますのでご覧ください。

2025年度佐賀学習センター閉所日カレンダー

(第1学期)

4 月	5 月	6 月
月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
7 月	8 月	9 月
月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

(第2学期)

10 月	11 月	12 月
月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
1 月	2 月	3 月
月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

閉所日



佐賀学習センター案内図

●JR佐賀駅から徒歩10分



●詳細図



交通のご案内

●JR佐賀駅から徒歩で10分

JR佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に200メートルほど進み「さが維新広場」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。

●JR佐賀駅からバスで

佐賀駅バスセンター4番乗り場から行先番号58番「中折・クレオパーク鍋島」又は59番「鍋島駅北・クレオパーク鍋島」行き(およそ30分間隔で運行、所要時間5分程度、大人運賃160円)に乗りし、「どん³の森前」バス停で下車してください。どん³(どんどんどん)の森の緑地帯にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。

●タクシー

JR佐賀駅南口乗り場から約5分

—— 放送大学のシンボルマークについて ——



(製作 永井一正氏)

1. 知識を吸収し、集約し、人格形成され、外に向かって上昇していくことを表す。
2. 多数の人々が教育をうける機会を表す。
3. 白は知識の吸収を、ブルーは人格の形成を表す。

放送大学イメージキャラクター
名称は“まなびー”



(命名者 小寺光雄氏)

1. 放送大学で学び、未来への夢を広げる鳩。
2. 「あなた」の心に学びを届ける伝書鳩をイメージしています。

利 用 の 手 引

2025年4月発行

放送大学佐賀学習センター

〒840-0815 佐賀市天神3-2-11 (アバンセ4階)

TEL 0952-22-3308 FAX 0952-22-3398

E-mail saga-sc@ouj.ac.jp